

地域資源活用の視点から、これからの岡崎を考える

# 第8回 地域活性化 フォーラム



【お申込み】  
**岡崎大学懇話会 事務局**  
(岡崎商工会議所内 担当: 箕浦)  
Tel: 0564-53-6161  
E-mail: minoura@okazakicci.or.jp

【日時】  
平成20年2月19日(火)  
午後2時～4時30分

【会場】  
コミュニティサテライトオフィス  
(松坂屋岡崎店6F) ※セルビ駐車場に限り2時間  
駐車サービスさせていただきます。

**入場無料**

## 研究発表

午後2時10分～4時

14:10～14:35

### 「地域食品副産物の有効利用について」

食品副生物、すなわち豆乳製造等からの「おから」(I)、湯葉製造からの「湯葉豆乳残液」(II)、n-3系脂肪酸を多く含むえごま油(しそ油)製造からの「えごま粕」(III)を利用したおから納豆ともいえる納豆様発酵物(原料: IとIIまたはIとIII)の性状について研究した。加えて、抗アレルギー・抗酸化作用を示す食品素材の原料として利用されているえごま粕中の未知ポリフェノール成分Gの構造やその作用について研究した。



愛知学泉大学  
**鬼頭 幸男** 教授

14:35～15:00

### 「岡崎市六供町街並み調査」

岡崎市中心部周辺、なかでも六供町周辺は全体が迷路のように路地がつながり豊かなコミュニティを作っている。本研究ではこの路地のデザインに着目し、人とまちとの接点として現れる領域や境界、特別の場所などを調査し、市民が継承してきた歴史や文化、シンボル性にあふれる空間特質/トポロジーを具象的な形で明らかにする。分断され、解体されつつある岡崎の多様なまちの資源を再認識し、継承する手がかりを報告したい。



人間環境大学  
**島崎 義治** 教授

15:10～15:35

### 「日本と地中海世界の石材文化における歴史的価値とその利用の研究」

各地における建築や装飾としての石材の使われ方を分析・紹介することで、岡崎の石工業に向けて提案をします。ひとつの可能性として地中海の国々や中国などの建築に見られる「レリーフ」に注目しました。職人の方たちの彫刻の技を生かしていけるような提案したいと思います。現状の岡崎における石材業の変遷や現状を関わってきた人々の姿も捉えつつ、新たな視座を石工業に携わっている方とともに探ります。



愛知産業大学  
**新井 勇治** 准教授

15:35～16:00

### 「少子高齢化に対応した生活支援を考える —高齢者対応店舗を通じて—」

少子高齢社会を迎えてその生活支援の必要性が高まっている中、最近高齢者対応店舗が現れている。介護施策は在宅中心・小規模多機能型へと向かう折、高齢者が地域で長く生活できるためには、地域コミュニティの活用が必要となる。今回、身近で便利とされるコンビニを利用する住民の方々に対してアンケート調査をおこなった。CS (consumer satisfaction顧客満足) をふまえて、少子高齢化に対応した店舗のあり方について検討した結果を報告する。



岡崎女子短期大学  
**上田 智子** 講師

※研究発表後には交流会を開催します。ぜひご参加ください。  
※交流会にご参加の方は、別途30分駐車券をお渡し致します。

主催：岡崎大学懇話会、NPO法人21世紀を創る会・みかわ、岡崎商工会議所